

表章に係る一般的注意事項

- (1) 表の数値は、その事象が出現する可能性を持っているが、統計上出現のなかった場合は「-」、本質的に出現することのありえない場合は「・」で記入する。

なお、「0」は小数点第1位以下が存在する可能性がある（例えば、小数点以下0.4を四捨五入した場合等）という意味となるため、「0」という表現使用に当たっては特に注意する。

- (2) 表番号は「(T〇〇-〇〇)」と表現し、図番号は「(F〇〇-〇〇)」と表現する。

また保健所が任意に掲載する表・図は「(〇〇〇-〇〇)」と表現する（先頭はアルファベット大文字、〇は数字）。これらの番号は、各表題の後に明記する。

番号の組成は以下のとおりである。

(T 〇〇 - 〇〇)
① ② ③

- ① …… T=表、F=図（グラフ）、O=保健所の任意様式
② …… その表・図の表章される「章」を表す（exp. 第1章の場合「1」）
③ …… その表・図の表章される章における、T、F、O別の一連番号
（exp. 第1章の最初に掲載される表・図の場合「1」）

2及び3について1桁の場合は1桁とする。様式に変更が生じた場合、また保健所において任意様式を追加掲載する場合は、この方法により採番する。